

令和4年度に市で発生した災害と件数

大雨警報などの発表回数



7件

災害発生報告件数



90件

住家・非住家の被害
(全壊、一部損壊)



14件

道路の被害
(土砂流入、のり面崩壊等)



10件

倒木



38件

令和4年度も市内で 大雨による被害が発生

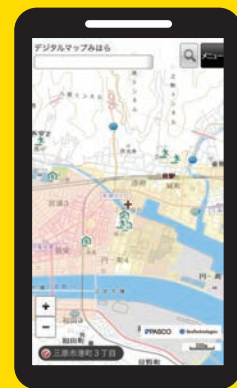
～命を守る事前の準備を～

梅雨や台風などの雨が多く降る時季を迎えました。令和4年は市内で住家の一部損壊などの被害がありました。自然災害から命を守るために、災害の恐れがある区域や避難のタイミングなど、今一度、家族で確認しましょう。

☎ 危機管理課(TEL 0848-67-6066 FAX 0848-67-6164)

まずは、ハザードマップを確認しましょう!

自分の生活地域の災害の危険を確認するのが防災の第一歩。ハザードマップは、市[デジタルマップみはら]で公開しています。



「デジタルマップみはら」の確認方法～スマートフォンの場合～

ココから
チェック!



▲市[デジタルマップ
みはら

①

二次元コードを読み取り、
デジタルマップみはらにアクセス

②

「防災・安全・安心」から
確認したいマップの情報を選択

③

「地図を表示」または
「住所を指定して地図を表示」を選択

危機管理課窓口で
配布できるもの

ハザードマップをウェブ版に移行しているため、新たな冊子は作成していません。冊子版のハザードマップは「土砂災害」と「津波」のみです。そのほかの種類のハザードマップが必要な人には、ウェブ版の画面を印刷してお渡しすることができます。



いざというとき、いつなにをする?

市から出される避難情報と取るべき行動

警戒レベル	避難情報など	避難情報を発令した事例(令和3年)	取るべき行動
5	緊急安全確保	・天井川の破堤、越水による家屋などの浸水 ・土砂崩れによる家屋の損壊	既に災害が起こっている状態のため、そのとき一番安全な場所 ^{*1} へ直ちに避難し、とにかく命を守る
4	避難指示	・河川水位がはん濫危険水位に到達 ・気象台と県による土砂災害警戒情報の発表	危険な場所 ^{*2} にいる人は全員直ちに安全な場所 ^{*1} に避難
3	高齢者等避難	・台風の接近 ・夜間に大雨が予想されたとき	高齢者など避難に時間がかかる人は、危険な場所 ^{*2} から安全な場所 ^{*1} に避難
2	気象庁の大雨・洪水・高潮注意報	—	避難行動を確認する

ここまで避難を完了してください。

自主防災組織の
呼び掛けも重要!

自主防災組織での「避難の呼び掛け」は、避難行動のきっかけとなり大変重要です。

※警戒レベル1では最新の気象情報に注意しましょう。

※1 避難場所のほか、安全な場所にある親族や知人宅など。

屋外へ避難することが危険な場合は、山側から離れた建物の2階などの高い部屋。

※2 ハザードマップ上で「土砂災害警戒区域」や「浸水区域」の範囲内にある場所。

! 地域の防災訓練に参加し、いざというときに行動できるようにしましょう。



1月29日に実施した市民防災訓練↑